



日合商は昭和52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるもので、また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

令和2年7月豪雨で被災された皆様にお見舞い申し上げます。

日合商支部総会の実施報告

2020.6.20

中国支部



総会は書面会議で実施、全議案は可決承認されました。役員改選により新支部長に三島英揮氏（三島建材㈱代表取締役）が就任されました。

中国支部分部長
三島 英揮 新支部長

2020.7.1

沖縄支部



総会は書面会議で実施、全議案は可決承認されました。

沖縄支部分部長
小山 幹太 支部長

2020.7.3

四国支部



総会は書面会議で実施、全議案は可決承認されました。役員改選により支部長に村上高志氏（㈱シント代表取締役社長）が再任されました。

四国支部分部長
村上 高志 支部長

2020.7.17

東京支部



総会は書面会議で実施、全議案は可決承認されました。役員改選により支部長に小川明範氏（ジャパン建材㈱代表取締役 社長執行役員）が再任されました。

東京支部分部長
小川 明範 支部長

2020.7.20

北陸支部



総会は書面会議で実施、全議案は可決承認されました。

北陸支部分部長
辻 利陽 支部長

2020.7.20

山梨地区支部



総会は書面会議で実施、全議案は可決承認されました。

山梨地区支部分部長
早川 勝 地区支部分部長

2020年度 合法木材・持続可能木材の供給認定事業者研修の実施予定

会場は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで開催します。
また、緊急事態宣言の発令や外出自粛要請等があった場合は、変更になります。

支部	日程	会場
新潟地区支部	11月13日（金）	新潟勤労者総合福祉センター 「新潟テルサ」

- 本年度も3年に1度の「合法木材認定事業者研修会」を実施いたします。
従来の研修会に併せて、登録実施機関等の専門家による「クリーンウッド（合法伐採木材）」普及促進のための説明会を実施いたします。なお、認定事業者の研修終了者には受講証明書を発行します。また認定事業者でなくとも、今後、認定申請を検討される木材関連事業者にも広くご参加いただけます。
- 本年度の林野庁補助事業では、合法性の確認が必要になります。
「JAS構造材利用拡大事業」と「外構部の木質化支援事業」では、施工者の交付申請書に【合法木材証明書】の添付が必要ですので、証明書発行の徹底をお願いします。

日合商支部 総会 8月スケジュール

★新型コロナウイルス感染防止対策により、各支部総会は書面会議に変更します。

- ・東北支部 総会

2020年7月1日現在

【グリーン購入法】に基づき 事業者新認定・期限更新した14社

北海道	-③-0023	高橋産業(株)	代表取締役	高橋 聰一朗
東北	-④-0028	㈱北洲	代表取締役社長	村上 ひろみ
東北	-③-0032	㈱北洲建設・資材事業部マテリアル工場	代表取締役社長	村上 ひろみ
東北	-③-0033	㈱吉田産業ハウジング加工センター	センター長	木村 巧
東京・静岡	-②-0214	西山木材(株)	代表取締役	櫻井 捷哉
中部日本	-0063	㈱杉浦木工所	代表取締役	三道 啓一
中部日本	-0064	ヨネモク工芸(有)	代表取締役	八木 敦弘
中部日本	-0065	㈱井上商会	代表取締役社長	深尾 嘉彦
中国	-④-0053	㈱ブレックコンポーネント	代表取締役	辻 政儀
中国	-③-0057	㈱下関ユアサ建材	代表取締役	宅野 和男
四国	-①-0028	㈱三浦商店	代表取締役	三浦 賢俊
九州	-④-0031	九州アコン(株)	代表取締役	山際 淳平
九州	-④-0032	㈱中澤	代表取締役	中澤 浩
九州	-③-0038	田野産業(株)	代表取締役	児玉 哲也



C H A N G E

代表取締役社長
足立 建一郎
ジュー・テックホールディングス株式会社

そこに新しい「変革」が見えてくるはずだ。
変えていかなければならない

「CHANGE」を「CHANCE」(機会)に
「突破力」をフル回転させながら、

イノベーションを起こすためには、
イノベーションは起こせない。

ただ歴史にあぐらをかいていたのでは、
いよいよ100周年へのカウントダウンが始まる。

昨年96周年を迎えた。

変革をこれからも



林野庁主催による2020年6月29日の「令和2年度第1回木材需給会議」に先立ち開催された「合板需給予測検討会」(日本合板工業組合・日本輸入協会・日本合板商業組合)にて合板需給見通しをとりまとめました。

合板 短期需給見通し

(Unit : 1,000m³)

		供給			需要(出荷)			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2020 (R2)	前回予測	(1,461)	(830)	(631)	(1,420)	(800)	(620)	(1,107.290)	(162.000)	(945.290)
1-3 実績	1,434.052	800.781	633.271	1,387.000	758.273	628.727	1,113.342	174.508	938.834	
4-6 前回予測	(1,432)	(840)	(592)	(1,390)	(790)	(600)	(1,149.290)	(212.000)	(937.290)	
見込み	1,342.000	730.000	612.000	1,300.000	730.000	570.000	1,155.342	174.508	980.834	
7-9 前回予測	(1,419)	(850)	(569)	(1,350)	(770)	(580)	(1,218.290)	(292.000)	(926.290)	
見通し	1,276.000	730.000	546.000	1,250.000	710.000	540.000	1,181.342	194.508	986.834	
10-12 見通し	1,320.000	780.000	540.000	1,330.000	750.000	580.000	1,171.834	225.000	946.834	
計	5,372.000	3,041.000	2,331.000	5,267.000	2,948.000	2,319.000				

国産合板の需要

1. 令和2年第1四半期の実績について 今回 (758千m³)

(実績数量の背景、前年同期との比較等)

消費増税の反動に需要の減少は -2.1%程度と緩やかに見ていたが、後半は新型コロナへの警戒も減少要因として加わり、予測以上に減少し前年同期比 -7.2%の減少となった。

2. 令和2年第2四半期の見込みについて 今回 (730千m³)

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)

新型コロナによる住宅部品生産の遅れから工期遅れを見込んでいたが、これに契約キャンセルも加わり需要減少はより拡大の見込み。

前年同期比 -11.7%の大幅減少する見込み。

3. 令和2年第3四半期の見通しについて 今回 (710千m³)

(見通し作成の根拠)

最近の流通販売店を対象とした需要見込み調査では、新型コロナの影響の大きさは、契約済みのものでは①工期の遅れ②商品の欠品③契約キャンセルの順となった。契約については、契約の減少、契約時期の夏から秋口への延期が多くみられる状況となった。

(前年同期との差異について)

前年の同期は、消費増税を前に前年同期比 +9.3%と大きく伸びた。今年は①消費増税後のなだらかな反動減②東京オリ・パラ期間の工事や物流の自主抑制等の理由から前年同期比 -9.3%を予測したが、これに新型コロナによる契約キャンセルや延期の理由が加わり、前年同期比 -16.3%の大幅減少の見通し。

4. 令和2年第4四半期の見通しについて 今回 (750千m³)

(見通し作成の根拠)

現時点で流通販売店が考えている新築・リフォーム契約延期の回復時期が秋口、第3四半期での営業再開によるニューノーマル化、非住宅向け等への補助金政策効果が期待される。そのため大きく減少した需要は徐々に回復に向かうと予想する。

(前年同期との差異について)

第3四半期よりは回復するものの、前年同期比 -14.9%の大幅減少にとどまる見通し。

5. その他注目点等

予測期間の中に、危惧されている新型ウイルスの第二波の大きな影響がないものと仮定。

輸入合板の需要

1. 令和2年第1四半期の実績について 今回 (629千m³)

(実績数量の背景、前年同期との比較等)

消費増税後の反動、国内合板への代替傾向の進展等により前年同月比 -6.7%の620千m³を予測した。結果は、前年同期比 -5.4%の減少でほぼ同水準の629千m³となった。2. 令和2年第2四半期の見込みについて 今回 (570千m³)

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)

例年、構造用合板・型枠用合板の引合い増加の時期だが当用買い中心の状況。マレーシア現地工場の稼働再開も通常生産にはほど遠く、前年同期比 -7.0%の減少の見込。

3. 令和2年第3四半期の見通しについて 今回 (540千m³)

(見通し作成の根拠)

輸入合板の塗装型合板の需要を支える大型建設現場の東京オリ・パラ開催期間の荷動きは、物流等への配慮から年初から控えめの予想であった。これに新型コロナの影響による工期の遅れ、契約キャンセルや延期などの減少要因が加わり、第2四半期よりさらに減少する見通しとなった。

(前年同期との差異について)

その結果、前回前年同期比 -4.0%と予測したものを、前年同期比 -10.7%の大幅減少の見通しとした。

4. 令和2年第4四半期の見通しについて 今回 (580千m³)

(見通し作成の根拠)

新型コロナ対応によるニューノーマルな業務、第二波抑制策などが進むことが第一前提で、新築・リフォーム契約数が底打ち後、回復に向かうと予測。また、国内需要に合わせ現地工場の生産と商社の現地成約の回復が進み供給(入港)も回復することが第二前提で、輸入合板の徐々に回復する需要に応えてゆくと予測。型枠合板需要でみれば、現在も東京オリ・パラ前に開業を目指してきた大型商業施設などが順次オープンしており、東京オリ・パラ後に計画の建設物件の着工時期の延期か否かは、型枠合板需要回復時期の判断のポイントと見る。

(前年同期との差異について)

第3四半期より増加だが、前年同期比 -11.2%の大幅減少にとどまる見通し。

5. その他注目点等

予測期間の中に、危惧されている新型ウイルスの第二波の大きな影響がないものと仮定。

2020年6月29日の林野庁主催「令和2年度第1回木材需給会議」での検討結果

主要木材の入荷量

注: ◇国産材: 製材用は製材工場への入荷ベース、合板用は合板工場への入荷ベース、外材及び輸入合板: 港頭入荷ベース、国内製造合板及び構造用集成材は製造ベース
◇合板国内製造の実績値は、農林水産省「合板統計」による

四半期	区分	丸太						輸入製材品					合板			構造用集成材					
		国産材			輸入丸太			米材	欧州材	南洋材	北洋材	NZ/チリ	計	国内製造	輸入	計	国内製造	輸入	計		
		製材用	合板用	計	米材	南洋材	北洋材														
令和2年	1-3月 実績	3,222	1,217	4,439	535	27	15	72	649	329	582	92	172	86	1,261	801	633	1,434	460	212	672
	前年比 (%)	95.6%	103.1%	97.5%	79.1%	72.7%	58.2%	84.7%	78.6%	85.3%	94.1%	92.7%	108.5%	75.4%	91.7%	100.5%	92.5%	96.8%	103.4%	107.6%	104.7%
	4-6月 見込み	2,600	1,100	3,700	500	28	20	71	619	375	615	90	175	60	1,315	730	612	1,342	465	220	685
	前年比 (%)	77.2%	87.6%	80.1%	76.3%	75.9%	55.6%	71.6%	74.8%	82.6%	87.5%	85.7%	102.9%	44.4%	83.9%	88.9%	99.7%	93.5%	97.9%	104.8%	100.0%
	7-9月 見通し	2,700	1,100	3,800	500	29	20	76	625	370	585	90	120	85	1,250	730	546	1,276	365	250	615
	前年比 (%)	88.6%	92.5%	89.7%	94.9%	125.4%	90.9%	88.5%	95.0%	77.5%	88.1%	86.2%	69.7%	103.0%	83.3%	86.8%	92.7%	89.2%	74.5%	91.8%	86.9%
	10-12月 見通し	2,700	1,180	3,880	550	18	25	76	669	370	570	100	120	95	1,255	780	540	1,320	365	190	555
	前年比 (%)	81.2%	97.4%	85.5%	96.2%	51.6%	100.0%	90.4%	93.6%	84.1%	98.5%	94.3%	77.8%	118.8%	92.8%	90.2%	83.3%	87.2%	72.3%	88.8%	77.2%
	年計	11,222	4,597	15,819	2,085	102	80	295	2,562	1,444	2,352	372	587	326	5,081	3,041	5,372	1,655	872	2,527	
	前年比 (%)	85.6%	95.0%	88.1%	85.8%	77.2%	73.5%	83.3%	84.7%	82.2%	91.7%	89.7%	80.6%	87.7%	91.5%	92.0%	91.7%	86.4%	104.0%	91.8%	

せっこうボードで
角の丸いコーナー、
作れます。

コーナーボードは、
せっこうボード一体型のコーナー材を
貼るだけなので、パテ処理不要で
カンタンに美しくひび割れしにくい
コーナーが作れます。

(一部にけい酸カルシウム板を使用しています)



CORNER BOARD
セイダクルセイド

安全認証マーク

共に挑み、明日を創る。

お問合せ TEL: 059-361-5020

チヨダワーテ株式会社 本社
〒510-8570 三重県三重郡川越町高松 928 番地

SEIHOKU

セイホクグループは
国産材の活用を積極的に推進し
『木材自給率50%の実現』に貢献したいと考えています

AKI 50 作戦

展開中!

A (あらゆるところに)
K (国産材)
G (合板を利用して)
50 (木材自給率50%達成!)

セイホク株式会社 / 東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)1031 FAX:03(3814)8299
西北プライウッド株式会社 / 東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)1031 FAX:03(3814)8299
秋田プライウッド株式会社 / 秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)8511 FAX:018(862)1513
新秋木工業株式会社 / 新潟県秋田市向浜1-8-2 TEL:018(823)7265 FAX:018(864)8397
ホクヨーブライウッド株式会社 / 岩手県宮古市刈屋1-3-1 TEL:0193(62)2255 FAX:0193(63)3664
ホクヨウ株式会社 / 岩手県宮古市刈屋1-3-1 TEL:0193(62)2255 FAX:0193(73)5505
北上プライウッド株式会社 / 岩手県北上市利賀町後藤2地割11-1 TEL:0197(73)5500 FAX:0197(73)5505
森の合板協同組合 / 岐阜県中津川市加子母5371-17 TEL:0573(79)5120 FAX:0573(79)5121
松江エヌエス工業株式会社 / 岐阜県中津川市八束町江島1-376-2 TEL:0852(76)3730 FAX:0852(76)3900
新栄合板工業株式会社 / 熊本県水俣市袋赤岸海50 TEL:0966(63)3441 FAX:0966(63)2145
アーミリー・ホールド株式会社 / 東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(381

概要

2020年5月の新設住宅着工戸数は63,682戸（前年同月比12.3%減）で11カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は35,632戸（前年同月比15.6%減）で11カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は80.7万戸で前月比1.3%増、先月の減少から再びの増加となる。

利用関係別では持家が19,696戸（前年同月比20.7%減）で10カ月連続の減少、貸家は24,040戸（同比8.1%減）で21カ月の連続の減少、分譲19,602戸（同比7.6%減）で7カ月連続の減少となった。分譲の内訳はマンションが9,137戸（同比0.3%減）で先月の増加から再びの減少、戸建ては10,381戸（同比12.8%減）と6カ月連続の減少。持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比12.3%の減少となった。

国内・外合板の供給量

5月の国内合板生産量は22.4万m³（前月比92.5%、前年同月比84.3%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は21.6万m³（同比93.0%、84.5%）となり、出荷量は21.2万m³（同比90.6%、80.1%）で在庫量は

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会 猪爪 清和

17.9万m³と先月から若干増加になった。

輸入合板の5月度入荷量は20.4万m³（前月比88.5%、前年同月比109.5%）となった。国別入荷量は、マレーシアが7.0万m³、インドネシアが7.0万m³、中国が4.7万m³の入荷量となっている。

今後の見通し

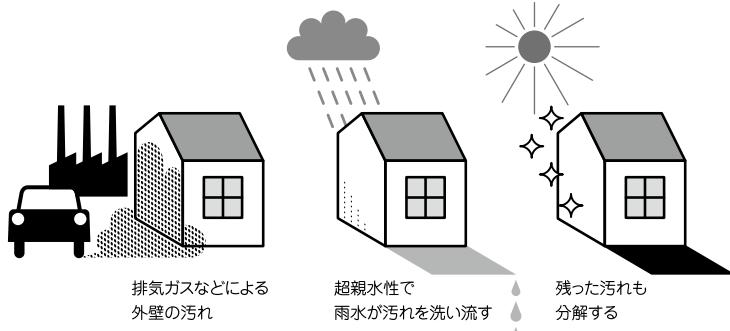
国内針葉樹合板は4月に引き続き5月も低調な荷動きである。メーカー各社は相場の下落を避けるように減産を表明し働きかけているが、現実として依然安値が聞こえており、弱基調は払拭されない。在庫量が若干増加し需要の手ごたえが薄いことから先安觀につながり、市場は様子見となっているので、メーカーが建値をしっかり維持できるかが焦点になっている。

輸入合板は、新型コロナウイルスの影響で受注残も少なく、限られた生産になっており積極的な購入が難しい状況である。港頭在庫も決して多くはないが、荷動きが停滞しているため、供給以上に需要が薄く、盛り上がりが想定しづらい厳しい状況が続いている。

KM EW

暮らしをまもる 住まいを魅せる

汚れても、雨水が洗い流す。
残った汚れも、光触媒パワーが分解する。



光触媒の壁 光セラ

ケイミュー株式会社

ケイミューは「パナソニック」と「クボタ」が出資している両社のグループ会社です。

[本社] 〒540-6013 大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー13F

www.kmew.co.jp/

お客様ご相談窓口

0570-005-611 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます(PHSのご利用は0743-56-2152)
受付時間・月～金 9:00～17:00(土・日・祝日・GW・お盆・年末年始は受付しておりません)

NODA

Mode Collect

Art Couture

マンション・
リノベーション向け
床材

マンション・リノベーションに対応した
選りすぐりの床材です。

同柄同色
24柄

1'×6'タイプ
二重床施工対応床材小幅タイプ
コンクリートスラブ下地用
直貼り防音床材

小幅タイプのみ
+5柄をラインアップ

株式会社ノダ 本社 〒111-8533 東京都台東区浅草橋5-13-6(三朋ビル) ☎ 0120-51-4066(お客様相談室)

創業から半世紀の伝統と信頼性と高品質。

「日々新・進」をモットーに、
より良い製品提供に努めています。

昭和22年の創立からおよそ70有余年にわたり、常に高品質な製品を提供すべく
様々なチャレンジをしてきました。おかげさまで良い評判をいたいでいます。

「和」と「企業活動を通じて地域社会に貢献する」ことを

経営の軸として守り続けています。

これからもさらにみなさまのお役に立てるよう、
業界のリーディングカンパニーとして前進していきます。

人と木を結んで…
日新グループ

<http://www.nisshin.gr.jp/>

N

日新ホールディングス株式会社

株式会社 日新
本社工場／境港市西工業団地100 TEL 0859-47-0303
第一工場／松江市西本町1062 TEL 0852-85-2311
第三工場／境港市西工業団地70 TEL 0859-37-0303
湖北工場／松江市西本町3-13 TEL 0852-37-0301
四国工場／徳島県小松島市鷲羽町5-36 TEL 0885-36-6103
三重工場／三重県多気郡鈴鹿町1343-1 TEL 0598-36-6003

NS木質科学研究所
境港市西工業団地102 TEL 0859-47-0606

日新林業株式会社

本社／松江市駒町3B3 TEL 0852-23-3822
境港事務所／境港市西工業団地88 TEL 0859-44-3311
境港工場／境港市西工業団地88 TEL 0859-44-3311

湖北ベニヤ株式会社
本社工場／松江市富士見町3-13 TEL 0852-37-0301

島根合板株式会社

本社／浜田市若狭町1095-2 TEL 0855-27-1625
第二工場／浜田市若狭町1098-8 TEL 0855-27-1625

島根県合板協同組合

本部／松江市駒町3B3 TEL 0852-23-3822
東京事務所／東京都中央区築地4-1-1 (東京ビル17F)
TEL 03-3248-6861

日新バイオマス発電株式会社
本社／境港市西工業団地46-1 TEL 0859-21-4591

木と生きる幸福

住友林業

木と生きる幸福。
住友林業グループ

住友林業株式会社 〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 <https://sfc.jp/>

日合商ホームページより新着情報・トピックスをご確認ください

【トピックス】ポイント解説 <https://www.nichigoshō.net>

● 6月 29日

■林野庁から「令和元年度森林・林業白書」が公表されました

木材産業や木材需給の動向等の他に「持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業」が特集として掲載されています。令和元年度の森林・林業の動向と、今後の主要施策への取組み状況を中心に、「令和元年度森林及び林業の動向」と「令和2年度森林及び林業施策」が紹介され、「令和元年度森林及び林業の動向」の中の特集として、「持続可能な開発目標（SDGs：エスティージーズ）に貢献する森林・林業・木材産業」が取り上げられています。その中で、林業家だけでなく、NPOや企業など多様な主体が森林づくりに参加していること、SDGsへの貢献活動の一環として、森林・林業・木材利用に関わる活動が実施されているというアンケート結果も紹介されています。

「令和元年度森林及び林業の動向」目次

特集

持続可能な開発目標（SDGs エスティージーズ）に貢献する森林・林業・木材産業

- 1 持続可能な開発目標（SDGs）と森林
 - 2 多様化する森林との関わり
 - 3 企業の森林に関わる意向と活動内容
 - 4 今後の課題と関係者の役割
- トピックス
- 1 森林経営管理制度、森林環境譲与税のスタート及び国有林野管理經營法の改正
 - 2 東京オリンピック・パラリンピック競技会場等における木材利用
 - 3 中高層建築物等の木造化・木質化に向けた動き
 - 4 スマート林業のフル活用を始めとした「林業イノベーション」の推進
 - 5 令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風による森林被害や山地災害等への対応
 - 6 「農林水産祭」における天皇杯等三賞の授与

第I章 森林の整備・保全

- 1 森林の適正な整備・保全の推進
- 2 森林整備の動向
- 3 森林保全の動向
- 4 国際的な取組の推進

第II章 林業と山村（中山間地域）

- 1 林業の動向
- 2 特用林産物の動向
- 3 山村（中山間地域）の動向

第III章 木材需給・利用と木材産業

- 1 木材需給の動向
- 2 木材利用の動向
- 3 木材産業の動向

第IV章 国有林野の管理經營

- 1 国有林野の役割
- 2 国有林野事業の具体的取組

第V章 東日本大震災からの復興

- 1 復興に向けた森林・林業・木材産業の取組
- 2 原子力災害からの復興

「令和2年度森林及び林業施策」の構成

概説

- ・施策の背景、財政措置、税制上の措置、金融措置、政策評価

I 森林の有する多面的機能の発揮に関する施策

- ・面的なまとまりを持った森林經營の確立
- ・再造林等による適切な更新の確保
- ・適切な間伐等の実施
- ・路網整備の推進
- ・多様で健全な森林への誘導
- ・地球温暖化防止策及び適応策の推進
- ・国土の保全等の推進
- ・研究・技術開発及びその普及
- ・山村の振興及び地方創生への寄与
- ・国民参加の森づくりと森林の多様な利用の推進
- ・国際的な協調及び貢献

II 林業の持続的かつ健全な発展に関する施策

- ・望ましい林業構造の確立
- ・人材の育成・確保等
- ・林業災害による損失の補填

III 林産物の供給及び利用の確保に関する施策

- ・原木の安定供給体制の構築
- ・木材産業の競争力強化
- ・新たな木材需要の創出
- ・消費者等の理解の醸成
- ・林産物の輸入に関する措置

IV 東日本大震災からの復旧・復興に関する施策

V 国有林野の管理及び經營に関する施策

- ・公益重視の管理經營の一層の推進
- ・林業の成長産業化への貢献
- ・「国民の森も林り」としての管理經營と国有林野の活用

VI 団体の再編整備に関する施策

申込書の提出で 「日合商会員向けメールマガジン」を スピー^ディーに閲覧できます

日合商会員向けメールマガジンには、木材・合板業界に関連する行政施策等の解説『日合商解説』と、業界の最新情報を伝える『日合商通信』を掲載しています。

記事閲覧の手順は、

①日合商HP [<https://www.nichigoshō.net>] から「日合商メールマガジン」をクリックし、パスワード・IDを入力してファイルを開く方法

②メール配信で添付するURLから直接閲覧できる方法
「日合商会員向けメールマガジン配信申込書」をご提出いただければ、記事閲覧の手順②の方法で閲覧できます。

■申込書の入手先

E-mail info-mag@nichigoshō.net

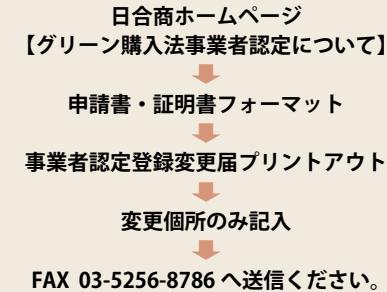
「日合商会員向けメールマガジン配信申込書希望」とメールでお知らせいただければ、申込書をメール返信いたします。

会員情報変更手続きのご案内

①現在登録の会員情報に変更があった場合、各支部事務局宛にファックスまたはメールでご連絡をお願いします。

②グリーン購入法認定事業者の変更
会社名・代表社名・住所等、登録情報が変更された場合、本部事務局（担当：菅原）宛に、変更届をご提出ください。

【変更届提出の手順】



東京の合板卸売り価格 (円) (注) 1車両単位 (10トン) 間屋売り価格・90日手形 (JAS 製品)

品 目	6月23日	前週比	6月30日	前週比	7月7日	前週比	7月13日	前週比	7月21日	前週比	7月28日	前週比
ラワン JAS F★★★★	2.3mm T2	590	0	590	0	590	0	590	0	590	0	590
	4.0mm //	700	0	700	0	700	0	700	0	700	0	700
	5.5mm //	880	0	880	0	880	0	880	0	880	0	880
	9.0mm //	1,480	0	1,480	0	1,470	-10	1,470	0	1,470	0	1,470
針葉樹構造用(ネダノン)	12.0mm //	1,800	0	1,800	0	1,790	-10	1,790	0	1,790	0	1,790
	F★★★★ 12mm C-D	1,070	-10	1,070	0	1,050	-20	1,050	0	1,050	0	1,050
	F★★★★ 24mm 実付	2,500	0	2,500	0	2,480	-20	2,480	0	2,480	0	2,480
	F★★★★ 28mm 実付	2,800	0	2,800	0	2,780	-20	2,780	0	2,780	0	2,780
輸入・型枠用	F★★★★ 9mm 3×10	1,950	0	1,950	0	1,950	0	1,950	0	1,950	0	1,950
	12mm JAS 製品	1,220	-10	1,220	0	1,200	-20	1,200	0	1,200	0	1,200
輸入・構造用	F★★★★ 12mm JAS 製品	1,280	-10	1,280	0	1,260	-20	1,260	0	1,250	-10	1,250



カガクでネガイをカナエル会社

ZEH、HEAT20など、

ますます高まる断熱要求に対応する

“高性能断熱材”

カネライトフォーム®の3大特性は、

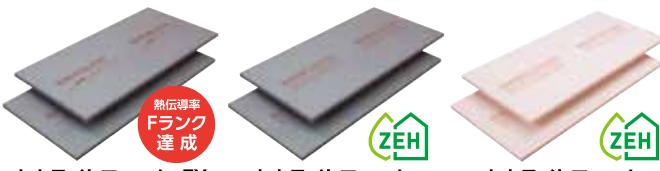
高性能だから壁の厚みを抑えられます

外張り、充填どちらの断熱工法にも使えます

吸水・吸湿性がほとんどありません

独立した小さな気泡の中に気体を閉じ込めるにより、

熱伝導の三要素として知られる「伝導・輻射・対流」を抑制し、熱を効果的に遮断します。



カネライトフォーム®は、建材トップランナー制度対象製品(区分名:押出ポリスチレンフォーム断熱材)です。

【製造】

株式会社 カネカ Foam & Residential Techs Solutions Vehicle

【販売(問い合わせ先)】

本社:東日本営業部 TEL00-0011 東京都千代田区内幸町1-3-3 TEL03(3596)7011

西日本営業部 TEL541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 TEL06(6205)3621

※「カネライトフォーム®」は、株式会社カネカの登録商標です。

お問い合わせは、カネカケンテック株式会社へお願い致します。

カネライトフォーム® 検索

Since 1950

これまで、これからも。

「木」を通して豊かな暮らしに貢献していきます。

NICE



国立競技場の外周の軒庇には、47都道府県の認証林から伐採された

国産スギ（沖縄県はリュウキュウマツ）が使われています。

当社は、国立競技場において、外周の軒庇木ルーバーの

材料供給・工事を行いました。

「ナイスの森」を育てています

当社は利益の一部を山林取得にて、全国8カ所、総面積2,021.3ヘクタールの社有林の保全・育成を通じて、地球環境保護に努めながらも貢献していきたいと考えています。



木 材流通

木材流通の最大手

国内および海外に保有する
木材プラットフォームを通じて
建築用木材を供給しています。

建 築資材事業

建築資材のご提案

住設機器・建材や耐震工法など
最新の商品と技術で多様化する
ニーズにお応えします。

住 宅事業

生涯にわたるお役立ち

住まいと暮らしに関する総合相談
窓口としてニーズに合わせた
ソリューションをご提案します。

ナイス株式会社

本社／〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 TEL 045-521-6111 (代表)

URL <https://www.nice.co.jp>